

2019 年度

事業報告書

(自 2019 年 9 月 1 日 至 2020 年 8 月 31 日)

公益財団法人メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン

# 目次

## ●事業報告

### I. ウィッシュ事業（公益目的事業）

1. 夢の実現
2. 広報活動
3. 会員増加及び寄付金募集活動
4. ボランティアの養成と支援

### II. チャリティー事業（収益事業）

### III. 物品販売事業（収益事業）

### IV. 不動産賃借事業（収益事業）

### V. 法人管理

## ●事業報告

### I. ウィッシュ事業（公益目的事業）

ウィッシュ事業は、「難病の子どもの夢をかなえるお手伝いをする」活動全般そのもので、当団体の中核事業です。

難病の一次定義は「命にかかわる病気・病状」であり、具体的な病名は当団体の定める病名リストに基づきます。ウィッシュチャイルドの病状が「難病」の対象になるかどうかの最終判断は、子どもの主治医が医学的見地から認定しております。小児がんなど、当団体の設立当時には不治の病といわれた病気も、医療技術の飛躍的な進歩により、今やその8割を越える患児が小児がんを克服できるようになりました。しかしながら、今なお多くの子どもが難病との闘いを余儀なくされています。

メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパンでは、対象となる全ての子どもに夢をかなえる機会を持ってもらうべく、2019年度もウィッシュ事業を進めてまいりました。しかしながら、2020年3月以降は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、通常ウィッシュ事業を進めることが困難な状況が続きました。

#### 1. 夢の実現

2019年度には、140名の子どもたちの夢をかなえることができました（2018年度に夢を実現した子どもは232名）。実現した夢を、担当した支部、夢の種類で分類すると以下ようになります。

支部別夢の実現数

	2019年度
東京本部	39
札幌支部	3
仙台支部	11
名古屋支部	29
関西支部	19
広島支部	15
福岡支部	24
合計	140

## タイプ別夢の実現数

( )内数

行きたい	86人
ディズニーリゾート	(42)
スポーツイベント	(5)
国内旅行	(30)
海外旅行	(2)
その他	(7)
なりたい	2人
会いたい	15人
有名人	(1)
その他	(14)
欲しい	37
動物	(4)
電気製品	(15)
おもちゃ	(6)
パーティー	(3)
その他	(9)
合計	140

夢の実現一件あたりの直接事業費用は 225,000 円で、2018 年度の 232,000 円とほぼ同じ水準でした。

## 2. 広報活動

当団体やその活動についての認知を高めるべく、広報活動を積極的に展開してまいりました。全国各地での講演活動に加え、Home Page、Facebook、Instagram などのソーシャルネットワークでの情報発信も推進してまいりました。

加えて、毎年発行している機関誌 News Flash の紙面を一新し、また、Home Page 上からも閲覧できるようにいたしました。

### 3. 会員増加及び寄付金募集活動

当団体にとっての最大の収益源は寄附金収入です。より多くの個人や企業の皆様に財政的支援をいただくべく、様々なイベントを通じた啓蒙活動を展開してまいりました。

加えて、より寄付をしていただきやすい環境整備に取り組みました。具体的には、支援会員制度の見直し、ネットからの寄付の仕組みの改善、提携クレジットカードの会員拡大等を進めてまいりました。

また、昨年度に引き続き、当団体の親団体である **Make-A-Wish International** と連携し、**APAC** 地区で他国の支部と協力して寄附金募集を行うことも進めてまいりました。その結果、**2019** 年度の会費と寄附金を合わせた収益は **9699** 万円となりました。

### 4. ボランティア養成と支援

夢の実現はボランティアによって支えられています。ウィッシュの実現に直接係わるボランティアの養成を目的としたボランティアトレーニングを、**2019** 年度は東京本部で **1** 回、支部で **5** 回開催しました。

情報共有を主な目的として、東京本部および各支部ではボランティア定例会を開催し、更にきめ細かにボランティアの活動を支援するためのフォローアップミーティングを **2019** 年度は **2** 回開催しました。

## Ⅱ. チャリティー事業（収益事業）

当財団の活動をより多くの人に知っていただき、ご支援をいただきたい。そのような想いで、様々なチャリティーイベントを全国各地で開催してまいりました。

しかしながら、2020年3月以降は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、主要イベントを中止せざるを得ない状況となりました。

2019年度に当団体が実施した主要なチャリティーイベントは、以下の通りです。

支部	名 称	開催月	参加者	収益
東京	第24回チャリティマラソン	2019年11月	600	882,034
	第22回チャリティコンサート	2019年11月	120	129,935
	第12回チャリティ駅伝大会	2019年12月	300	990,079
札幌	第13回チャリティ・ラン&ウォーク	2019年9月	400	425,448
	つながるチャリティラン&ウォーク2020	2020年8月	150	253,835
仙台	第17回レディーステニス大会	2019年12月	450	135,469
関西	チャリティランチコンサート	2020年2月	50	176,679
広島	第5回チャリティイベントin松山	2019年9月	150	395,130
	第12回チャリティリレーラン	2019年12月	150	419,000
福岡	第3回チャリティ・ダンク	2019年10月	80	9,000
	第9回チャリティ・ラン&ウォークinつみのなかみち	2019年11月	350	973,311
			2,800	4,789,920

2020年3月以降は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、主要イベントを中止せざるを得ない状況となりました。

その結果、イベントへの総参加者数は、当初予定していた3,700名を下回る2,800名となりました。また、チャリティー事業全体での収益は689万円となりました。

### Ⅲ. 物品販売事業（収益事業）

当団体では自主出版の書籍やオリジナルグッズを作成し販売しています。2019年度は、2020年3月以降、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、イベントの中止が相次ぎ物品販売の機会も失われました。そのため、前年度よりも3割程度売り上げが落ち、物品販売事業での収益は、456万円となりました。

### Ⅳ. 不動産賃貸業（収益事業）

当財団は2010年に支援者より遺贈を受けた不動産（アパート）を東京都渋谷区西原に保有しておりましたが、2019年4月に売却し、2019年7月に東京都千代田区九段南に新たに賃貸用不動産(ビル)を購入しました。今後、当ビル4Fに東京本部事務局を移転する予定です。

今後も不動産賃貸事業を継続し、管理業務は、日本総合コミュニティーサービス株式会社（ビル管理）・株式会社パルポートワン（賃貸管理）に委託しております。

### Ⅴ. 法人管理

2019年度は以下の重点課題に取り組み、成果を出すことができました。

- ・ 支援会員制度の見直し、ネットからの寄付の仕組みの改善、提携クレジットカードの会員拡大等を進めた
- ・ 機関誌 News Flash の紙面を一新し、Home Page から閲覧できるようにしたこと  
で、新たな支援者を獲得することができた
- ・ メイク・ア・ウィッシュの国際組織 Make-A-Wish International と連携して、APAC 地域でのファンレイジングに協力して取り組んだ
- ・ より効率的な支部運営のため、各支部事務所を移転し、静岡支部・北陸支部を閉鎖した

以上